

マリン児島だより

No.25

平成30年4月発行
マリン児島地区
社会福祉協議会
(児島小学校区)
事務局 ☎473-2432
印刷: (有)タナベ印刷

特集

みんな下守ろう!! 子どもたちの安全

安全パトロール連絡会議開催

1年間のパトロールを振り返っての今年の安全パトロール連絡会議が2月21日(水)児島小学校で児島警察署、児島小学校、パトロール隊員、マリン児島地区社協が出席の上開催された。

今年の連絡会議は、13年目となり隊員も変わってきているので初心に帰りパトロール隊員全員を参加対象とし児島警察署本多



本多生活安全課長



生活安全課長から児島管内の防犯状況やパトロールをする上での具体的留意事項や特殊詐欺の話があり大いに参考となる講話となった。

更に松井交通指導員の高齢者交通安全に関する貴重な話もあった。

また、隊員からは子ども達との接点で喜びを感じたり、元気を貰ったりの嬉しい話から隊員の増員を求める声等共通の課題も出された。

最後は地域の財産である子どもたちを「学校・警察・地域・パトロール隊員等みんな守ろう!」との意義ある連絡会議となりました。

雨の日も風の日も ありがとう!!

児島小学校感謝の会

2月5日(月)朝、児島小学校体育館にてマリン児島安全パトロール隊員の方への「感謝の会」が開催されました。児童代表が「パトロール隊のみなさんのおかげで事故にあわず元気に登校することができました。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。その後、隊を代表し坂本要一さんから、全国で発生している事故例をもと



全児童が参加して行われた感謝の会

に交通ルールを守って安全に登下校すること、自分の命を大切にすることについてお話がありました。最後に児童からのお礼の手紙が渡されました。隊員のみなさまには、猛暑の日も厳寒の日も雨の日も風の日も見守っていたいただき心より感謝申し上げます。

(児島小学校)

地域の安全を守る 貴重な体験談報告

第4回防災講演会

地域の安全を守るため自主防災組織の結成等を目指し、1月27日(土)小川中公会堂でマリン事業として第4回目の防災をテーマとした講演会を開催した。

今回は実際に福岡県朝倉市の水害応援に参加された社協児島事務所水野孝昭氏と熊本地震避難所応援に参加された児島保健推進室小川尚美氏の貴重な体験談の話に自治会役員、地域住民、関係者約45名の方々が参加され、生々しい災害現場の声に聞き入った。

これを機にこれから迫る災害に向けて自主防災組織の結成に繋がることが期待されている。

当日何かとご協力頂きました災害ボランティアコーディネーターの皆様には感謝申し上げます。

なお、各自自治会等で個別の防災出前講座等を希望される場合は、マリン事務局までお気軽にご相談下さい。



災害現場の報告に耳を傾ける参加者

皆さんは、「ロコモティブシンドローム(運動器症候群、略称はロコモ)」という言葉をご存知でしょうか?時々耳にするようになってきたロコモですが、少々厄介者の様です。

厚生労働省の平成25年国民生活基礎調査によると、要支援、要介護になった要因の第一位はロコモで、全体の25%に達しています。以下、脳血管疾患が19%、認知症16%と続いています。ロコモの割合、意外と大きいと思いませんか。そもそもロコモとは筋肉や骨、関節、椎間板などの運動器の衰えが原因で障害が起こり、歩行や立ち座りなどの機能が低下



マリン児島地区社協 事業副部長 山田 博文

ロコモとは?

活発な意見が交わされた連絡会議

して、日常生活にも支障を生じている状態のことです。進行すると、要介護や寝たきりになるリスクが高くなると言われています。

最近では色々な「ロコモ体操」なるものが考案され、ネットなどでも紹介されていますので興味のある方はご覧になってみてはいかがでしょうか。運動器は自分の意志で動かすことができ、そして骨や筋肉はいくつになっても鍛えることができると言われていています。

ロコモを思い当たる方、今からでも遅くありませんよ!いづれにしてもいつまでも健康で明るく楽しい人生を過ごしたいものです。



マリン児島地区社協パトロール隊緊急連絡先

安全安心な街	
パトロール隊の 皆様ご苦勞様です	SOS
警察署緊急通報電話	110番
消防車・救急車	119番
児島警察署	086-473-0110
児島消防署	086-473-1190
児島小学校	086-473-2711
児島中学校	086-473-2721

当日配布されたSOSカード

安全パトロールの方へ
おはよう。いってらっしゃい。朝!
お帰りにこの言葉が少しでも
うれい。です。登校の時でも
温かみを感じています。
いつもありがとうございます。
地区
2丁目
名(いわさき)

パトロール隊員に贈られた手紙



参加者の関心事「認知症予防」の話もいっぱい

熱気ムンムン 笑いっぱい 高齢者のつどい

今年も素晴らしい秋日和の文化の日マリン児島地区社協主催の『高齢者のつどい』が62名参加のもと開催された。出し物は、いまの関心事「認知症予防と運動」の話に始まり日本舞踊そしてみんなで楽しく歌おう、ビンゴゲーム等参加型の楽しい催しで会場は笑いっぱい、熱気ムンムン。



魅惑の日本舞踊



歌声も高らか



みんな楽しく歌った



休憩に全身体操



体脂肪は？



血圧等各種測定

健康は今や中高年の一大関心事で、それを象徴するかのように去る2月2日(金)小川中公会堂でミニ健康展を開催すると122名が参加するほどの盛況ぶり。

今年も 測定体験 大盛況! ミニ健康展 122名が参加

当日は、気になる健康チェックの体力測定やら骨密度・体脂肪・血流測定等各ブースは押すな押すなの大盛況の中、足の裏バランス測定はひととき人気抜群でした。



血流測定もあります



大人気のバランス測定



熱心に脳トシ

18才と81才の違い

- 恋に溺れるのが18才、風呂で溺れるのが81才
- 道路を暴走するのが18才、道路を逆走するのが81才
- 心がもろいのが18才、骨がもろいのが81才
- 偏差値が気になる18才、血圧・血糖値が気になる81才
- まだ何も知らない18才、もう何も覚えていない81才
- 東京オリンピックに出たいと思うのが18才、東京オリンピックまで生きていたいと思うのが81才
- 自分探しをしている18才、皆が自分を探している81才

大笑いの「18才と81才の違い」

みんな元気に健康ウォーク!

今年も、地域で有名な小川八幡宮迄の散策を兼ねたコースを設定。運動指導員のもとラジオ体操を行い元気に出発。到着の八幡宮では拝殿に上がり宮総代の貴重な話に地域の方85名が耳を傾けた。最後は美味しい手打ちうどんの振舞いに参加者はホット一息。



元気いっぱい!

卒寿を超えて⑥



小川駅前 塩津笑子さん(91才) 歌の海の中で詠み続けて

自営業を営みながら3人の子育てを終えた平成2年に突如の病でご主人を亡くされました。その看取りの日々や亡くしてからの切ない思いを残したいと短歌を始められたそうです。短歌の会に入られ、今も毎月十五首を提出し続けておられます。独居を続ける中で本に親しみ、俳句・川柳も詠み、民謡の会では2月に「白虎隊(吟詠入り)」を披露なさ

もう人を 想ふことなき 身の軽さ 旅の潮路の 海の広がる (いつまでもお元気で いてください)

地域だより

小川海岸通り自治会は6班47世帯の自治会です。主な年中行事としては、年4回の公会堂前、高架橋下の清掃、年2回の公会堂での防火訓練、小川八幡宮秋祭りの接待などがあります。自治会行事の時には回覧板を廻す事で、いつも30名以上の協力をいただいております。

自治会が一体となって

小川海岸通り自治会長 坪井 研

親睦会は一緒に食事をしたり、歌をうたい、折り紙、ぬり絵、おしゃべりなどを楽しみながら楽しいひと時を過ごしています。春は花見にも出かけます。

睦が深くなりました。また、自治会行事とは別での事も含めて色々な事が週一回集まる事で身体



親睦会での餅つき